

緑ネットワーク通信 No.8

緑のネットワーク・まつど

代表：山田純稔

連絡先：渋谷孝子 TEL&FAX047-348-7977

年会費：1000円

第8回観察学習会

「千駄堀地区の樹林と歴史パート2」

山室 功

朝9時半に稔台駅付近のお寺前にて集合、説明を受け観察会はスタート。車が一台やっと通れる通る住宅街の道を北に暫く歩くと「まさかこんな所に」と思うような林が現れる。



ここは私有地で、今回は地主様に事前の許可を得、中に入る事が出来た。コナラ、クヌギ系、ケヤキの枯葉を踏みしめながらひっそりとした林の奥に入っていく。野鳥のさえずりで期待感と共に妙に気持ちが落ち着く。

途中、スズメバチの巣を二つ発見、緊張したが、一度使われた巣は次からは使われないとの説明を受けほっとする。今までスズメバチは危険な害虫というイメージのみを持っていた。ところが、田畑の害虫を食べる為、共生していけば農薬（殺虫剤）の必要のない農業が可能になるとのこと、見方によってスズメバチも益虫なのかと思ひ生態系の奥深さを知った。

途中コゲラの巣を見つけ、シロダモの木を確認。同じクスノキの種類であるヤブニッケイと共に似た葉脈（三本脈）を観察した。



霜柱を踏みしめながら千駄堀の湧水池を観察。肌寒い大気に比べこの湧水の生暖かさが印象的だった。斜面林を登り、途中ロウ梅やヒイラギナンテンを植えている民家の庭木でヒヨドリを確認した。梅檀幼稚園の付近の道祖神見学中、上空に大鷹の飛翔！みんなで空を見上げ大喜び！

野鳥に詳しい方が「野鳥に興味を持たない時には空に大鷹が飛んでいても気が付かないだけです。実は大鷹以外にも色々な野鳥が飛んでいます。これが野鳥に興味を持ち始めることで初めて見えてくるんですよ・・・」という言葉に感銘する。

香取神社に到着、正月三ケ日にしていなかった初参りを終えほっとする。鳥居横に立派なクスノキがあり感激したが、実は先に見た同境内のケヤキの方が古く200年以上前との説明を受け驚く！途中畑に入り縄文時代の遺跡の欠片を拾いみな大騒ぎ、みな血眼で探し始めた・・・



道中、気温は前日より若干暖かめと思われたが、21世紀の森のアウトドアセンターに向かう頃、風が寒く、強くなった。池の方から蒲の穂綿が飛翔するのが見えた。

アウトドアセンターで勉強会が行われた。千駄堀の地層から始まり地域の変遷について説明していただいた。ここ数十年で樹木や湿地等が急減したのを知る。改めて人間が自然と共生していくには何らかの働きかけも重要である事を勉強した。

今回は初参加でしたが千駄堀の色々な側面を知ることが出来、とても勉強になりました。林の地主様、そしてスタッフの皆様、ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひします。

お知らせ その1

里山整備学習会・整備の前に目的アリ!

森林研究センターから講師をお迎えして、里山の整備の考え方、進め方の基本を学びましょう。

日時：3月12日（土曜日）10：00～15：00

場所：21世紀の森アウトドアセンター管理棟～森

主催：緑のネットワーク・まつど

対象：現在松戸で里山整備にかかわっている人、これからかかわりたいと考えている人

講師：千葉県森林研究センター環境機能研究室 福島成樹氏

県東葛飾農林振興センター企画調整室林業改良指導員 佐藤哲也氏

内容：午前中 プロジェクターを使った学習会

午後 実際に森の中で、グループに分かれて、調査や活動計画を立てる実習

参加費：200円（保険料込み）

服装／持ち物：斜面の森に入れる服装。整備作業はしません。弁当、雨具、筆記用具

申し込み：電話、ファクス、メールで氏名、住所、電話（ファクス）を渋谷へ（締め切り2月28日）

渋谷孝子 電話（ファクス） 047-348-7977（夜7時以降）

メールアドレス peco@ka1.koalanet.ne.jp

お知らせ その2

観察学習会 残したい松戸の樹林⑨

「行政と市民で考えよう！松戸の緑と生き物たち」

日時：4月10日（日曜日）10：00～15：00

場所：21世紀の森アウトドアセンター管理棟前集合

主催：緑のネットワーク・まつど

内容：午前中は公園の中を自然観察の後、展示物見学。

午後は行政の方（みどりと花の課、環境計画課、

都市整備本部企画管理室）を交えての学習会。

参加費：300円（会員100円、保険料込み） 持ち物：弁当、飲み物、敷物、雨具、筆記用具

松戸の緑をみんなで
考え行動するきっかけとなるような学習
会にしましょう

お知らせ その3

ハツ場ダム住民訴訟 千葉県第1回裁判

原告の意見陳述が行われます。多くの方が傍聴し、市民の関心の高さを示しましょう。

裁判の後、説明会を開き、裁判所での分かりにくいやり取りを解説します。

3月11日(金)10：30～11：00（10時 千葉地裁玄関前集合） 雨水の会より

お知らせ その4

緑のネットワーク・まつど 定例会 3月17日(木)、5月17日(木) 19：00～21：00

新松戸駅より徒歩3分 赤城神社内の幸谷公民館にて、皆さんの参加をお待ちしています。

緑ネットワーク通信 No.9

緑のネットワーク・まつど

代表：山田純稔

連絡先：渋谷孝子 TEL&FAX047-348-7977

年会費：1000円

観察学習会 残したい松戸の樹林⑨ 行政と市民で考えよう！松戸 の緑と生き物たち 山室功

21世紀の森と広場はソメイヨシノが満開ですっかり春爛漫。気候も暖かく週末でもあることから連日家族連れがたくさん！！本日も例外なく良い陽気で、期待の膨らむ観察日和！そんな中、緑のネットワーク松戸による観察学習会が開催されました。本日のテーマは「行政と市民で考えよう！松戸の緑と生き物たち」21世紀の森と広場内、アウトドアセンター前に午前10時集合、観察会を引率して下さる山田さんより本日のスケジュールについての説明を受けました。

アウトドアセンターを出発し、観察会の開始です。観察場所は「21世紀の森と広場」です。坂道を降りながらアオキの説明を受けました。「アオキは雌雄別株」との事でそれぞれの雌花、雄花をじっくり観察しました。アオキは藪の代表格でこの千駄堀の森にも大変多く分布しており「ここにもアオキあそこにもアオキ」というイメージです。付近にはモミジイチゴが開花しているのを観察しました。モミジイチゴは花が下向きで葉がモミジの様な形をしています。何となく愛らしい感じがします。シロダモの葉を観察しました。シロダモの葉はよく見るとコブだらけで、このコブにシロダモハコブフシと呼ばれるシロダモタマバエが寄生しています。さて、野草を楽しみながら日差し



の柔らかい坂道を降りてまいります。タチツボスミレ、ジロボウエンゴサク、ヒメオドリコソウ、ホトケノザを続けて観察しま



した。

野草というと女性の方に詳しい方が多いですが、この日は男性の方もタチツボスミレの花の形の説明を熱心に聞いていらっしゃいました。又、図鑑を片手に一つ一つ観察をいらっしゃり方も居りました。湿地帯までの間は木陰もあり、日射もありますが比較的明るいので、イヌシデやミズキの木がよく育っています。イヌシデは雄花がすでにたくさん落ちておりました。また、ミズキはその赤い枝先からその独特の形状の新葉が見られました。湿地帯ではモズを観察しました、その後モズのハヤ贄（ハヤニエ）も発見！カエルの乾燥したものでした。このハヤニエは自分の餌の保存という説や縄張りの表現という説等、諸々の説があります。湿地の中にはツボスミレがありました。タチツボスミレに比べとても小さい花びらでした。カントウタンポポとセイヨウタンポポの間の雑種らしきタンポポも観察しました。

湿地帯分布の代表格、ハンノキにはハンノキハムシが寄生しておりました。そして、沼の中にはオタマジャクシがたくさん確認出来ました。池付近で昼食をとり観察会は終了しました。

午後はアウトドアセンターにて学習会。緑のネットワーク松戸が過去に活動した観察会などの展示会が行われました。展示会の後、別室に移動し行政の方を交え、松戸に残る森林等の行く末や並木道あり方等について白熱した意見も交わされました。松戸の自然について考えるところ、目指すところは十人十色ではありましたが、思いのある方がこんなにも多いのかと改めて感激するところでした。

報告

里山整備学習会整備の前に目的アリ！

渋谷孝子

里山フォーラムで入手した冊子の内容を見て、仲間と一緒に、モウレツに勉強したくなった。特に整備作業の項目のところで、「重要なことは、作業は目的ではなく手段であるということです。利用目的とその目標林型を常に意識し目的を明確にして作業を実施するよう心がけましょう」というフレーズにググーとハートを捕まれ、学習会の実施を思い立った。

当日は里山整備にかかわっている、あるいはこれからかかわろうと思っている 39 名と松戸市みどりと花の課の職員 2 名が、県の森林研究センター・福島成樹氏の分かりやすい講師のお話を熱心に聞き、午後は近くの森で実習した。

具体的に学習会で学んだ整備手順は以下のようである。

現況の調査《森の木の高さや密度、種類など森の状況を把握し、森がかつてどんな森だったのか、今後どのように変化していくのか（遷移）を予測する》→**利用目的の決定**《目的はいろいろある。近隣の住民の生活環境を保全、景観のための森、自然観察に利用、生物多様性のための森、筍やしいたけ栽培など。区域を分けて考えてもよい。》→**目標林型を設定する**《森の現況、地形、持ち主の意向などさまざまな自然条件や社会的条件を考慮した上で、目的に応じた「ウグイスの鳴く自然観察のできる森」、「子どもたちが思い切り遊べる森」など具体的な目指す森を思い描き、図にしてみる。》→**整備方法の検討と決定**《目標の森の誘導していくためにはどのような整備をしたらよいか考える。森は高木層、亜高木層、低木層、林床階層構造をしているので、階層別に考えるとよい。→ここでようやく整備作業なのだ！！

私たちはつい森の整備というと鋸や鎌を持ってすぐ作業に入りたがる。「作業しながら考える」という方法もあるが、実際には作業に取り掛かるとなかなかじっくりと考える時間がとれなくなる。また、「里山の整備作業はこうするもの」という答えは、どうも、里山が 100 あれば 100 あっていいようだ。地権者の意向を確かめながら、みんなで考えていく過程こそが里山整備の醍醐味なのかもしれない。

実際に自分のかかわる森でどう整備するか、整備作業の手を止めて、この学習会で学んだことを持ち帰り、みんなで考えてみたい。

「チェーンソーや刈払機具は小さな森ではいけない」との講師の言葉もあった。具体的な整備作業の技術を学ぶのは整備手順を踏んでから又みんなで学習会を開催しよう。

お知らせ その1

メールアドレスをお持ちの方は、
ぜひ【緑のネットワーク・まつど】メーリングリストにご参加ください

緑のネットワーク・まつどでは、メーリングリストを利用して各種の連絡や意見交換を行っています。メーリングリストとは、決められたメールアドレス [midori-n@yahoogroups.jp] にメールを送ると、あらかじめ登録されたすべてのメンバーに同様のメールが配信される仕組みです（返信も同様）。一度に多くの会員に情報提供ができ、また会話をするように情報の交換ができる便利なものです。

メールアドレスをお持ちの方は、ぜひ「緑ネットメーリングリスト」にご参加ください。参加を希望される方は、下記の高橋宛に氏名、連絡先を明記の上、メールでお申し込みください。

【メーリングリスト参加申し込み先】高橋：VZC02645@nifty.ne.jp

※メーリングリストの利用にはあらかじめ登録が必要です。上記の [midori-n@yahoogroups.jp] に直接メールしてもご利用になれませんのでご注意ください。

活動紹介

「関さんの森を育む会」で梅の販売が始まりました！
6月19日までの毎週日曜日、10時～12時 梅林にて 1kg 当たり 500円です。

活動紹介

「里やま応援団」のご案内

- ・松戸里やま応援団は05.3.10、設立のできたてのグループです。
- ・月2回活動しています。昨年度は28回の活動を行いました。
- ・私たちは自然を守る活動を楽しみながら継続していきたいと思っています。
- ・定例活動日は毎月第2(八ヶ崎の森)と第4(金ヶ作の森)の水曜日です。

*連絡先・深野靖明 電話・FAX 047-388-0200

e:mail kattejin@koalanet.ne.jp

お知らせ その2

緑のネットワーク・まつど 総会報告

去る4月10日、視察学習会の終了後、2005年度の総会を実施しました。同封の(総会出席者は省略)議案書どおりに可決いたしました。

お知らせ その3

緑のネットワーク・まつど 次回定例会 6月14日(木) 19:00～21:00
新松戸駅より徒歩3分 赤城神社内の幸谷公民館にて
皆さんの参加をお待ちしています。

お知らせ その4

視察学習会・残したい松戸の樹林⑩「松戸の宝・矢切の斜面林」

7月10日(日)

7月1日の〈広報まつど〉でご案内予定です

- ・集合 矢切公民館 10:00
 - ・内容 午前は矢切の斜面林の自然観察 午後は地権者をお招きしての学習会
 - ・参加費 一般300円、会員100円
- ※会員の方の参加とご協力をお待ちしています。

緑ネットワーク通信 No.10

緑のネットワーク・まつど

代表：山田純稔

連絡先：渋谷孝子 TEL&FAX047-348-7977

年会費：1000円

観察学習会 残したい松戸の樹林⑩ 「松戸の宝・矢切の斜面林」

渋谷 孝子

観察会の様子

梅雨の真っ只中と言うのに、誰の心がけがよかったのか、晴れの(蒸し暑い中の)観察会となった。

神明神社は江戸川の堤工事のときに移転してきたため、鎮守の森としては特異な環境となっている。中に入って見るとイヌシデ、ケヤキなどの落葉高木中心で、下にヒサカキなどの常緑樹もあることがわかる。



矢切斜面林の中の様子が分かる神明神社境内

住宅が隣接している部分では、太い枝が伐採されているのが痛々しい。林縁は日光が当たるので林内よりも多様性に富んでいる。伐採地にはアカメガシワやクサギなどが見られた。

外環自動車道の工事現場を横切って親水公園まで炎天下を歩く。ネギの匂いの中、振り返ると斜面林の濃い緑の帯。面積としては非常に薄い帯ではあるが、広々とした畑、台地の上に広がる空とあいまって景観としてはなんとも豊かな緑だ。

この松戸の顔とも言える景観が大切だと言うことは広がる畑を住宅に置き換えたり、斜面林の向こうにマンションを置いてみたり、或いは斜面林そのものが住宅やビルや、コンクリートで土止めされた斜面だったらどうかと、想像力を働かせてみると良くわかる。

斜面の樹木を残すことはもちろん、この景観全体を大切にしていきたいと思った。



矢切斜面林の魅力は連続性と手前に広がる畑の空間

学習会の様子

みどりと花の課の島村さんより松戸市の矢切斜面林は長さ約2km、幅30m、面積5.12ha(寺社林、寄付済みの土地を除いた私有地約4ha)で、松戸市緑の基本計画の中でも松戸市の玄関の緑と位置づけられており都市緑地法による<特別緑地保全地区>の指定を目指しているとの説明があった。参加者の質問に、「松戸みどりと花の基金」「景観法」などと樹林地との関連についても、丁寧に説明いただいた。

里やま応援団の深野さんより船橋市での先進事例の紹介もあり、残念なことに予定されていた矢切斜面林の地権者の方の参加はなかったが、なかなか有意義な学習会となった。

参加者の感想より

- ・ボランティア団体が力をつけることが大切。
- ・他市の取り組みを調べることも大切。
- ・利用できる制度の研究も必要。
- ・行政が地権者と市民の間にうまくクッションになっていただきたい。
- ・市街化区域の樹林地を保全するには特別緑地保全地区の指定しかない。矢切の斜面林を残したいという潜在的な声を顕在化させていく仕掛けが必要。
- ・街づくりや川関連の会、花の好きな人たちも巻き込み、ふるさと森の会、行政、企業などつながってやっていくことが大切

お知らせ その1

観察学習会・残したい松戸の樹林①

11月1日の
〈広報まつど〉で
ご案内予定です

「千駄堀＊森の小径観察&クリーンアップ」

千駄堀地区の樹林は21世紀の森とつながる豊かな自然が残る場所。市民に潤いを与える大切な緑であるばかりでなく、生き物にとっても貴重なエリアと言えるでしょう。森は人目につきにくいことから不法投棄が後を絶ちません。森の自然を観察しながら、緑を大切に思う市民の力で森をきれいにしませんか？

11月13日(日)

小雨決行

- ・集合 新京成線八柱駅北口 9:30~14:00
 - ・内容 午前は千駄堀地区樹林の小径観察とゴミ拾い。午後は学習会
 - ・持ち物 弁当、飲み物、軍手
 - ・参加費 100円(保険料)
 - ・雨天の場合のお問い合わせ 080-5080-9910(渋谷)
- ※会員の方は学習会終了後定例会をいたします。

お知らせ その2

里やまボランティア入門講座

公報まつど(9月15日号)にて募集される「里やまボランティア入門講座」は今年で3回目になります。松戸市の樹林地の現状や都市部の樹林の重要性を学んだり、実際に樹林地の整備ボランティアを行っている先輩達のフィールドでの活動体験などしていきます。1期の修了生のグループは【里やま応援団】として八ヶ崎の森で楽しく活動中、2期の修了生のグループは【囲いやま森の会】として金が作の森で活動が始まりました。実際に体を動かして樹林地の整備活動にかかわりたいという方、参加してみませんか？詳細は同封の別紙にてご確認ください。

お知らせ その3

松戸の樹林地保全についての有志の会「樹林地会議」が毎月1回程度 週末の夕方に実施されています。次回は10月8日(土) 17:00~19:00 市役所向かいのテント小屋(プレハブ2階建て)にて。興味のある方はぜひのぞきにきてください。

お知らせ その4

緑のネットワーク・まつど 活動予定変更のお知らせ
 次回の観察学習会は都合により11月13日(日)を予定しています。
 10月の活動は 定例会10月20日の木曜日 19:00~幸谷公民館にて